

アイロボット、IFA 2026 でコンセプトモデル「Roomba® Duo」を発表 2 台のロボットが連携する新技術で、次世代の床掃除を実現

アイロボット・コーポレーション(本社: 米国マサチューセッツ州ベッドフォード、以下「アイロボット」)は、2026 年 9 月 4 日(金)から 8 日(火)までドイツ・ベルリンで開催される世界最大級の家電見本市「IFA 2026」に出展し、アイロボット初となる 2 台構成のロボット掃除機・床拭きシステム「Roomba® Duo(ルンバ デュオ)」を発表します。



「Roomba Duo」は、パワフルな床洗浄を担うメインロボットと、家具の下や狭いスペースまで入り込む超薄型のコンパニオンロボットで構成されています。2 台のロボットがそれぞれの役割を担いながら連携し、家全体を効率的に清掃します。

メインロボットは掃除機がけと床拭きを担い、コンパニオンロボットはダイニングチェアの間や低いベッド、ソファ、テレビ台の下など、メインロボットでは到達できない場所を清掃します。2 台のロボットには、「ClearView™ Pro」デュアルライン LiDAR と「PrecisionVision™ AI」が搭載されており、家具や日常生活で生じるさまざまな物体を認識し、回避しながら家全体をより包括的に清掃します。

なお、本モデルはコンセプトモデルであり、販売の予定はありません。

■製品の主な特長

Roomba Duo

1. 2 台のロボットで清掃場所を分担する、新しい「Roomba Duo」
2. 掃除機がけから頑固な汚れの床拭きまで、手作業でこすることなく清掃
3. 高さ 8.4cm のコンパニオンロボットが、家具の下や部屋の隅まで清掃
4. 家具や障害物を認識し、清掃からモップ洗浄・ゴミ回収まで自動で対応

1. 2 台のロボットで清掃場所を分担する、新しい「Roomba Duo」

「Roomba Duo」の大きな特徴は、1 台のロボットがもう 1 台のロボットを運び、必要な場所で清掃させる仕組みです。メインロボットの上部には機械式アームを搭載しています。アームの先端を水平に保ちながらコンパニオンロボットを持ち上げ、メインロボットでは入り込めない場所まで運びます。目的の場所に到着すると、コンパニオンロボットを床面に降ろして清掃を開始します。この 2 台は「Roomba Home」アプリ上の共通のホームマップを使って接続され、AI を活用して清掃場所をリアルタイムに分担します。メインロボットは広い床面を掃除機がけ・床拭きし、コンパニオンロボットは家具の下や狭いスペースを担当します。

このように 2 台で清掃する場所を分担することで、1 回の清掃中により広い範囲をカバーします。

2. 掃除機がけから頑固な汚れの床拭きまで、手作業でこすることなく清掃

メインロボットは、一般的なロボット掃除機よりも多くの機能を搭載できる円筒形のボディを採用しています。内部には、乾いたゴミを吸引するための高性能モーターに加え、床を水拭きするための機構と大容量バッテリーを搭載しています。床拭きには、直径 60mm のローラーモップ「PowerSpin™ Max Roller Mop」を採用。46N(約 4.7kg)の加重を床面にかけながらローラーを回転させ、人の手で床をこするかのよう汚れを落とします。ペットの毛や食べ



こぼしなどの乾いたゴミは、強力な吸引力で取り除きます。

さらに、内部のヒーターでスチームを発生させ、汚れが付着している場所に吹き付けます。スチームによって乾いて固まった汚れを柔軟化させ、セルフクリーニング機能を備えたローラーモップが汚れやベタつきを洗い流します。パスタソースや調理油などの汚れにも対応し、ローラーの後方に搭載した温風機能によって、濡れた床面を乾かします。これにより、フローリング床が長時間濡れた状態になることを防ぎます。より床に近い環境で過ごす小さな子供やペットがいる家庭など、日常的に床が汚れやすい環境でも、従来のロボット掃除機では対応しにくかった床の汚れまで自動で洗浄します。

3. 高さ 8.4cm のコンパニオンロボットが、家具の下や部屋の隅まで清掃

コンパニオンロボットには、2026 年に発売した「Roomba® Plus 575 Combo ロボット」(日本国内ではオンライン専用モデルとして販売中)を採用しています。高さ 8.4cm、幅 29.8cm の薄型 & 小型ボディにより、ダイニングチェアの間を通り抜けるほか、低いベッドやローソファ、テレビ台などの下にも入り込み、ホコリやペットの毛、食べこぼしなどを取り除きます。

さらに、「PerfectEdge®」モップパッドは最大 31mm 外側に伸長し、同じく伸長式のサイドブラシと組み合わせることで、部屋の隅や壁際、巾木の周辺、形状が複雑な家具の周りまで清掃します。

また、自動昇降式の前輪を搭載し、最大 3.5cm の段差を乗り越えることができ、複数の部屋を移動しながら清掃を続けます。

4. 家具や障害物を認識し、清掃からモップ洗浄・ゴミ回収まで自動で対応

「Roomba Duo」は、センサーやカメラを使って部屋の状態を把握し、家具などの障害物を避けながら清掃します。メインロボットとコンパニオンロボットの両方に「ClearView™ Pro」デュアルライン LiDAR と「PrecisionVision™ AI」を搭載。家具などの一般的な家庭内の物体を検知し、ぶつからないように避けながら走行します。

さらに、メインロボットの上部には AI カメラを搭載。部屋や家具、床面の配置を上から広く捉えることで、複数の部屋にまたがる住まいのマップをより詳細に作成します。また、床面の大きなシミやゴミが集中している場所を識別し、その場所を重点的に清掃します。メインロボットには直径 17cm の大型ホイールとハブモーターを搭載し、部屋から部屋へ移動する際にも安定して走行します。「Roomba Duo」は清掃後のメンテナンスも自動で行います。2 台が共通で使用する「AutoWash™」ドックには、きれいな水を入れるタンクと汚水タンクを搭載。モップを自動で洗浄・乾燥するほか、回収したゴミを大容量バッグに自動で排出します。これにより、モップの洗浄やゴミ捨てといった日常的な作業の頻度を減らします。

■アイロボット・コーポレーション Co-CEO ハオ・リーのコメント

「Roomba Duo は、私たちが家庭用ロボットのあり方をどのように再構想しているかを示す、大きな一歩です。1 台のロボットですべてを担わせるのではなく、それぞれ異なる役割を持つロボットが、1 つのインテリジェントなシステムとして連携する。これこそが、家庭での暮らしを本当の意味で変えていくために必要なことだと考えています。私たちは、家そのものが自律的に家事を担い、人が掃除に追われることなく暮らせる『Fully Autonomous Home (完全自律型の家)』を目指しています。Roomba Duo は、そのビジョンに向けた新たな一歩です。」

■アイロボット・コーポレーションについて

アイロボットはグローバルに展開する家庭用ロボットカンパニーです。使う人に寄り添った思いやりのある技術と、安心して任せられるホームイノベーションによって、豊かな暮らしを共に創造することをビジョンにロボットのデザインと製造を行っています。2002 年に「ロボット掃除機 ルンバ®」の発売を開始し、ロボット掃除機市場を創出して以来、全世界で数千万台に上るロボットの販売実績を誇ります。アイロボットの製品ポートフォリオは、清掃、マッピング、ナビゲーションにおける独自のテクノロジーと高度なコンセプトを特徴とし、これらを活用することでロボットとスマートホームデバイスのエコシステムを構築、家のメンテナンスを容易にし、衛生・健康的な生活の場を提供します。

www.irobot.com

iRobot、iRobot ロゴ、アイロボット、Roomba、ルンバ、ClearView、PrecisionVision、PowerSpin、PerfectEdge、AutoWash は、アイロボットの登録商標または商標です。